



伏見 中書島・丹波橋の史跡めぐり Fushimi Chushojima Tambabashi Route

スタート 京阪電車 伏見桃山駅
[START] (Keihan) Fushimi-momoyama Sta.
近鉄電車 桃山御陵前駅
(Kintetsu) Momoyamagoryomae Sta.
JR 桃山駅
(JR) Momoyama Sta.

基本コースのみ / 約6.2km、約1時間30分
健脚コースとも / 約8.3km、約2時間5分
(川べりの道を三瀬開門まで足を延ばします)

ゴール 京阪電車 丹波橋駅
[GOAL] (Keihan) Tambabashi Sta.
近鉄電車 近鉄丹波橋駅
(Kintetsu) KintetsuTambabashi Sta.

鳥羽伏見の戦い史跡めぐり Battle of Toba-Fushimi Route

スタート 地下鉄・近鉄 竹田駅
[START] (Subway/Kintetsu) Takeda Sta.
(京阪電車丹波橋駅より近鉄京都線約3分、
JR京都駅より地下鉄烏丸線/近鉄京都線約6分)

基本コースのみ / 約10.7km、約2時間45分
健脚コースとも / 約14.6km、約3時間50分
(明治天皇の御陵をお参りします)

ゴール 京阪電車 伏見桃山駅
[GOAL] (Keihan) Fushimi-momoyama Sta.
近鉄電車 桃山御陵前駅
(Kintetsu) Momoyamagoryomae Sta.
JR 桃山駅
(JR) Momoyama Sta.

この辺りで高瀬川の戦いがあった

鳥羽伏見の戦い

The Battle of Toba-Fushimi 新時代、ここに始まる

◆開戦前夜

江戸時代、朝廷は將軍宣下を行い幕府に大政を委任していましたが、15代將軍徳川慶喜は慶応3年(1867)10月に大政奉還を申し出ます。12月9日の王政復古の大号令で、慶喜の將軍職が勅許され、摂政・関白・幕府を廃し、新たに三職が置かれます。慶喜は臣下の暴発を抑えるため12日に京都の二条城を出、大坂城へ退去します。けれども薩摩藩の横暴を弾劾する「討薩の表」を持たせ、慶応4年(明治元年)正月2日、会津藩・桑名藩を主力とする1万5千の大軍を京に差し向けました。陸路を進んだ部隊は淀に進軍、淀川を船で遊った部隊は伏見の京橋に上陸し伏見奉行所や本願寺別院(伏見御堂)に駐屯します。

◆鳥羽の戦い

翌3日、薩摩の軍勢およそ240名は城南宮に入り、鴨川に架かる旧小枝橋に続く参道に大砲を4門設置します。また鴨川右岸にも別の80名が身を隠して陣形を整えました。淀から鳥羽街道を北上して都に入ろうとする約2000名の旧幕府軍は赤池で入京を拒まれ、「通せ」「通さぬ」と談判になります。その赤池からは、薩摩軍の大砲は秋の山に隠れ、街道正面の1門しか見えません。夕闇が迫り旧幕府軍が強行突破を図ろうとした途端、薩摩軍の大砲が火を噴き鳥羽の戦いが始まりました。

◆伏見の戦い

鳥羽の砲声が聞こえるや、伏見の御香宮神社に陣を構えた薩摩軍約800名と、南側の伏見奉行所に入った旧幕府軍や新撰組等およそ3000名とが火交を交え、伏見の戦いが始まります。夜には西郷隆盛が両戦場を視察、味方を鼓舞しました。翌4日朝には、高瀬川に架かる大信寺橋の南で、濃霧の中、薩摩・長州・土佐藩ら新政府軍と、会津藩ら旧幕府軍との間で激戦(高瀬川の戦い)が繰り広げられました(東高瀬川の東の小河川が当時の高瀬川の跡)。

◆錦の御旗 翻る

これより先、仁和寺宮嘉彰親王に征討大將軍の宣旨が下され、朝議によって旧幕府軍は朝敵と決せられました。5日、旧幕府軍(東軍)は鳥羽街道の富ノ森に陣地を築いて抵抗しますが、死傷者を多く出して淀へ後退、法傳寺などに戊辰東軍戦死之碑が建ちます。また伏見と淀を結ぶ堤防道の途中、千両松での戦いを制した長州兵らは、旧幕府軍を淀へ退却させます。仁和寺宮嘉彰親王は本陣のあった東寺を出発、錦の御旗を掲げて鳥羽街道を淀小橋まで南進、そこから堤を渡って伏見に馬を進めました。新政府軍の士気は高まり、鳥羽伏見の戦いの勝敗が決し、新しい明治の代を迎えることになります。

◆明治天皇と洛南の地

明治天皇は何度も洛南に行幸されています。慶応4年3月、大坂御親征の際は葱葉轎に乗って御所を出発、鳥羽街道を往復されました。明治5年には伊勢の神宮にご参拝の後、大阪から淀川を船で遊り伏見に上陸、伏見街道を騎馬で進み京都に入られ、父孝明天皇陵に参拝されました。10年には、馬車で伏見を経て神武天皇陵に向われ、また鳥羽街道を往復して石清水八幡宮にお参りになっています。これらの行幸の途次、城南宮や藤森神社、安楽寿院等の社寺や小学校、工場にお立ち寄りになりました。そして明治天皇の御陵は御遺志により伏見桃山の地に築かれ、明治天皇に殉じた乃木希典夫妻を祀る乃木神社が御陵の麓に建てられました(伏見・桃山地区の説明もご覧ください)。

伏見区 Fushimi Ward

